

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス東所沢教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の風通しが良い。 言いたい事がある程度指導員間で言い合える環境がある事で指導員の自発的な行動を促し結果として子どもへの支援につながっています。	日頃からマクロマネジメントの方針とする事で、各指導員が自分で考えて行動できるように意識的に取り組んでいます。各指導員の考えや意見を可能な限り尊重する事で、○○さんはどう？という意見を聞いた時に発言しやすい状態を常に維持できるようにしています。	各指導員が方針の意味を理解し、定めた目的から逸脱しないケアとフォローを継続する必要があります。自主性を尊重する上で子どもへの支援にどれだけの結びつきがあるのか？結果が伴っているのか？の分析、実施、改善とPDCAサイクルに則った取り組みを行います。
2	コミュニケーションの醸成を行っている。 子どもと指導員が多く関わる時間がある事で、子ども同士の関係性を構築する際に指導員が橋渡しの役割をしやすいコミュニケーションの醸成をしやすい事が教室の特色としてあります。	子どもが今の段階にいるのかによりコミュニケーションを少しずつ図れるように指導員が場面ごとに声をかけて伝えています。ただ注意するのでは子どもにも入りにくい事があり、日頃からトレーニング以外にも遊びなど一緒に過ごす事で関係性の構築を行っています。各指導員ごとに違うやり方をもっておりそれぞれのやり方でアプローチを行っています。	どの段階にいるのか子どもによって違いがあり、その子どもにとってより適切な支援を提供するために指導員のレベルの向上にむけ勉強会の開催、研修の充実などの取り組みが必要とされています。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への共有の機会が日々のお迎え時、定期面談時、短信の送付などと限られた場面になってしまっている。	実際に来所している子どもの様子などを見る機会などを設けていない。	保護者参観の機会などを設けるように現在検討しており、体制が整い次第実施する方針が固まっています。
2			
3			